

# 取扱工事説明書

このたびは、TBC商品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。取付施工手順の際、商品の機能が充分に発揮できるようにこの説明書をよくお読みのうえ、使用条件にそって正しく施工して下さるようお願いいたします。また、この説明書は施工完了後に必ずお客様にお渡しください。

## 目次

1.安全上のご注意	1
2.器具の取付け	2
3.仕様・寸法図	7
4.構成図	8
5.使用上のご注意(お客様へ)	9

## TBC FLAT SERIES

TABUCHI (水栓コンセント・単水栓)

横水栓・ホース接続

SP1100・SP1100S (緊急ストッパー付)  
SP1100SA (緊急ストッパー・ウォータハンマ緩衝機構付)  
〔SC:逆止弁無 / 12.5:スベサー付〕

### 〈水栓ボックス取付上の注意事項〉

注意	
!	水栓ボックスの当木への固定は必ず2面以上で行ってください。ガタツキにより部材の破損が生じ、漏水の原因となります。
!	水栓ボックスはガタツキがないように堅牢に取付けを行ってください。ガタツキは部材破損の原因となります。
!	水栓ボックスの取付け位置は水栓ボックスの前面が壁板の内側にきっちりと密着する位置に施工してください。施工のスレによりカバーホースが取付けできなくなるおそれがあります。
!	水栓ボックスの取付け位置と配管の支持固定は500mm程度の間隔で固定し、その間配管に障害を与えない構造としてください。配管の影響により水栓ボックスの位置がズレ、正しく洗濯機用カブラーホースが取付けできなくなるおそれがあります。

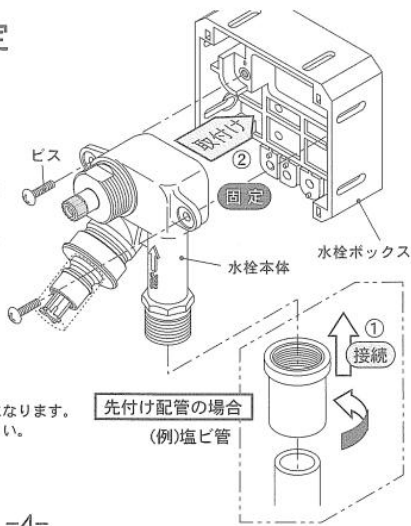
### 2.管の接続及び本体固定

#### 〔先付配管の場合(従来配管)〕

取付け前には必ず通水し、給水管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。管の接続作業は水栓本体を固定する前に行い、その後水栓本体を水栓ボックスに固定してください。ビスは付属のビスをご使用ください。

〔後付配管の場合(さや管工法)〕  
水栓の固定(仮止め)のみを行ってください。樹脂管の接続は3.壁板施工の後に行ってください。

●仮固定は壁板施工後の穴開け作業の位置決めになります。  
●配管の状況によっては先付配管を行ってください。



## 安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
※ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。  
※施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに、説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。  
又、この取付工事説明書は、ご愛用のしおりと共にお客様で保管頂くように依頼してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

⚠ 注意 この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●お守りいただく内容を次の絵表示で区分し、説明しています。

🚫	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
🛑	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 〈施工前の確認事項〉

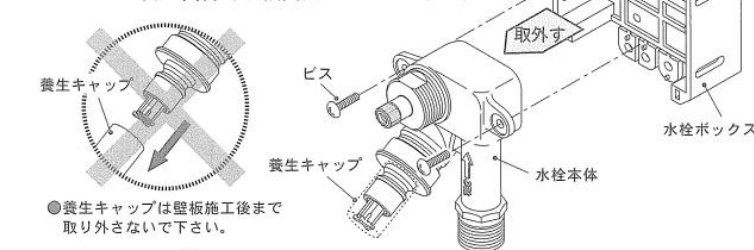
注意	
!	施工前には使用する壁板厚をご確認ください。本商品は壁板厚が9.5mmと12.5mmに対応しております。その他の壁板厚を使用の際は壁面から水栓ボックスの取付位置を調整し、施工してください。
!	壁内空間は35mm以上を確保してください。
!	水栓に接続する配管や継手の経路がボードや下地材等に接触しない事を確認してください。接触する場合は偏心ソケットを使用したり、下地材の逃げの加工を施してください。

施工の前には、「取扱工事説明書」を熟読し正しく施工してください。また、ご不明な点は弊社担当者と充分打ち合わせの上、実施してください。

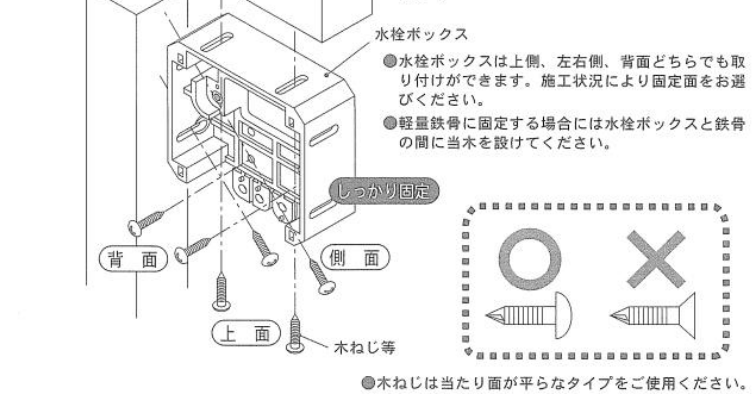
## 2 器具の取付け

### 1.水栓ボックスの取付け

1.水栓本体を水栓ボックスより取外してください。(左右のビスを外す事で水栓本体を取外す事ができます。尚、出荷時は仮固定をしています。)



2.水栓の取付け位置に合わせて当木等を設け、水栓ボックスを当木に木ねじ等で2面以上でしっかりと固定してください。



●木ねじは当たり面が平らなタイプをご使用ください。

### 3.壁板施工(壁板の穴開け)

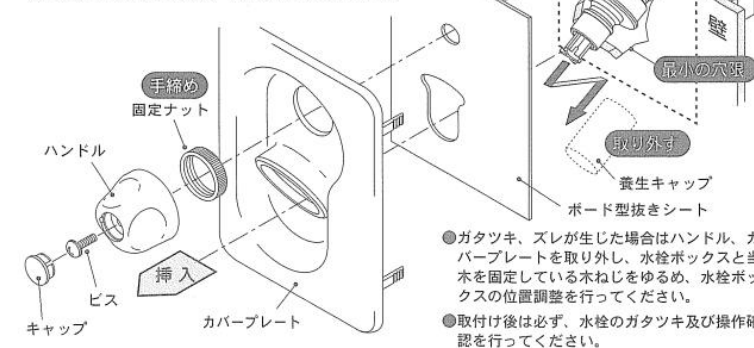
〔先付配管の場合(従来配管)/後付配管(さや管工法)の場合1〕

壁板施工時に水栓取付けに必要な穴を開けてください。水栓の突起に当たらない最小限の穴を壁板に開けた後、同梱の型抜きシートを使用してガイドラインに沿って穴を開ければ簡単に必要な穴を開ける事ができます。  
●穴の空き過ぎにはご注意ください。●壁板施工前に穴を開ける場合は寸法図を参照してください。

4.完了 (後付配管の場合は次ページ後、完了作業へ)

〔カバープレート及びハンドルの取付け〕

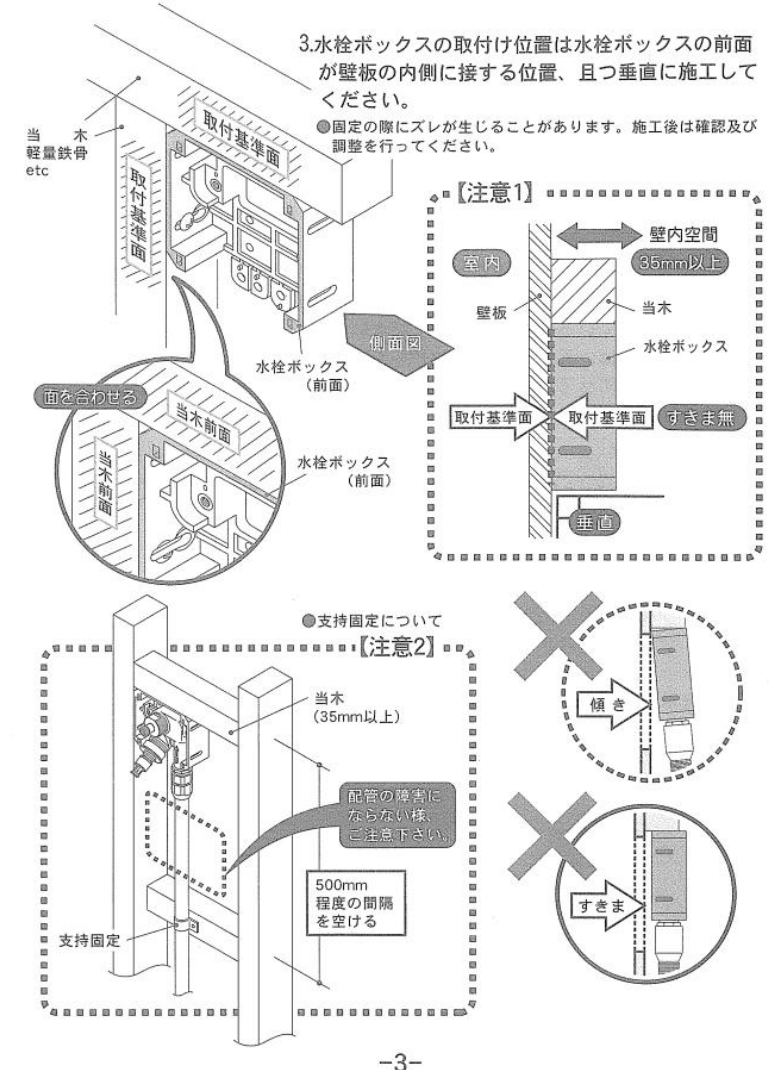
1.カバープレートのつめを水栓ボックスのつめ穴に合うように挿入し、固定ナットで締付けてください。  
2.カバープレートのズレ、ガタツキが無いことを確認しハンドルをビスで固定してください。  
●固定ナットの締付けは必ず手締めで行ってください。



●ガタツキ、スレが生じた場合はハンドル、カバープレートを取り外し、水栓ボックスと当木を固定している木ねじをゆるめ、水栓ボックスの位置調整を行ってください。  
●取付け後は必ず、水栓のガタツキ及び操作確認を行ってください。

〈カバープレート取付上の注意事項〉

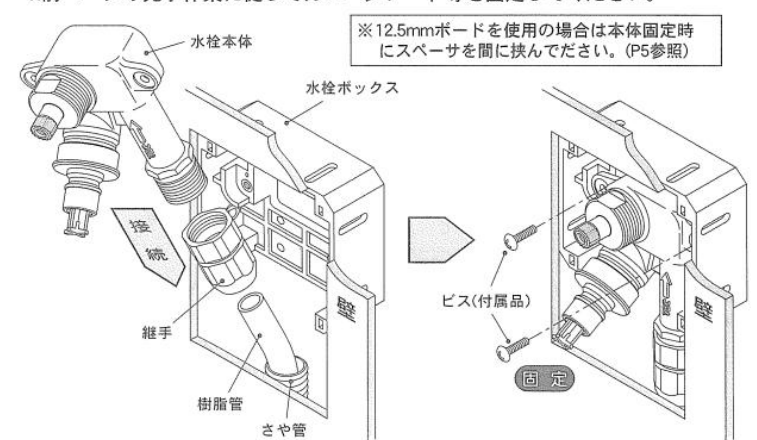
- ! 壁板に穴を開ける寸法は必ず、型抜きシート及び寸法図どおりに開けてください。カバープレートの接触や隙間により、美しく取付けができなくなります。
- ! カバープレートの取付け後、水栓本体のカブラー吐水部のつばが完全に露出していることを確認してください。不完全な露出は洗濯機用カブラーホースが接続できず漏水を起こします。



### 管の接続及び本体固定

〔後付配管(さや管工法)の場合2〕

1.壁板に穴を開けた後、水栓ボックスに仮固定されている水栓本体を取外し、さや管内を通してきた樹脂管の接続作業を行ってください。  
2.水栓本体を水栓ボックスに押し込み、取外した際のビスで固定してください。  
3.前ページの完了作業に従ってカバープレート等を固定してください。



※12.5mmボードを使用の場合は本体固定時にスベサーを間に挟んでください。(P5参照)

〈寒冷地での取付けについて〉

! 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

※次工程の壁板施工時までパーツ等を大切に保管しておいてください。

# 3 施工後の確認

## 【ハンドルについて】

●ハンドルが閉まっている事を確認してください。  
緊急ストッパーでも止水は可能ですが、万が一に備えハンドルは締めておいてください。

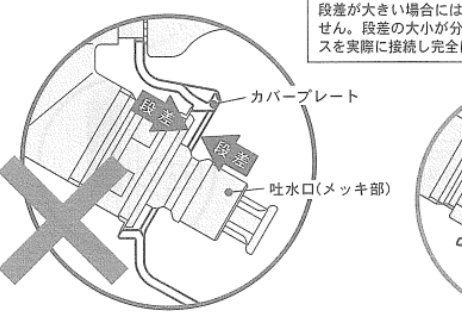
## 【緊急ストッパーについて】

●緊急ストッパーのシャフトを揺すって吐水口内部の水圧が抜けている事を確認してください。また、動かない場合は、元栓を閉じハンドルを開いてからシャフト揺すってください。(元水圧が高い場合にはシャフトが固い場合があります。)

緊急ストッパーが固く動かない場合には、使用者側で洗濯機用カプラーホースを接続する際に、戸惑う場合がありますので、必ず緊急ストッパーは解除した状態で引き渡してください。

## 【カバープレートについて】

●カバープレートと吐水口に大きな段差がある場合は、何らかの要因により、水栓ボックス(本体側)の位置がズレています。2器具の取付け(P3)を参考に水栓ボックス(本体側)の位置調整を行ってください。



洗濯機用カプラーホース

## ■洗濯機用カプラーホースが外れた時の対処法

(緊急ストッパー付：SP1100S・SP1100SA・SC1100S)

万が一、通水中に洗濯機用カプラーホースが外れた場合には吐水口に内蔵された緊急ストッパーが作動し、水が漏れない構造になっています。再度、洗濯機用カプラーホースを接続する場合は下記の要領に従って解除を行ってください。また、洗濯機用カプラーホースを接続せずに水栓のハンドルを開けた場合にも同様の作業を行ってください。

- 1.水栓のハンドルを右に回して水を止めてください。
- 2.吐水口に溜まった水がこぼれないように吐水口まわりにタオル等を設け、緊急ストッパーのシャフトを手などで揺すってください。(吐水口内部の水圧が抜けます)
- 水圧が高く緊急ストッパーが動かない場合は元栓を閉じ、ハンドルを開いてからシャフト揺すってください。
- 3.前項の洗濯機用カプラーホースの接続に従って接続を行ってください。

## 〈洗濯機用カプラーホース取扱上の注意事項2〉

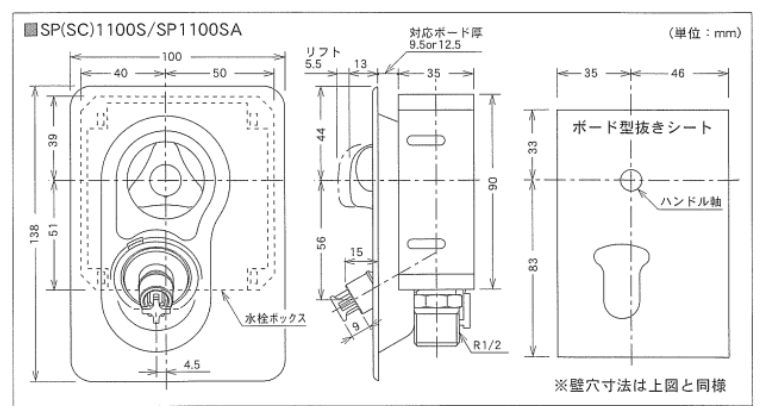
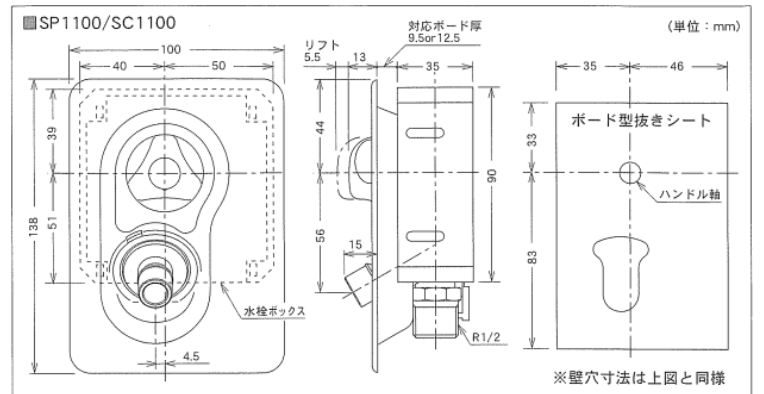
⚠ 注意	
!	洗濯機用カプラーホースの接続の際は必ず水栓のハンドルを閉じてから行ってください。水の飛び散り及び部材破損の原因となり、漏水の原因となります。

【適合品番/全自動洗濯機】	【適合品番/二層式洗濯機】
TBC T17-1X-1	TOTO TH277
SAN-EI PT17-1-□	SAN-EI T17-4F
カクダイ 4365-□	カクダイ 7726
ブリジストン BK-H-□	

※□はホース長さ

# 4 仕様・寸法図

SP(SC)1100	逆止弁	【取付条件】
SP(SC)1100S	逆止弁・緊急ストッパー	壁内空間:35mm以上
SP1100SA	SP1100S同仕様・WH緩衝機能	ボード壁:9.5mm or 12.5mm
※SCは寒冷地用(逆止弁無し)		対応給水圧力:0.05MPa~0.75MPa

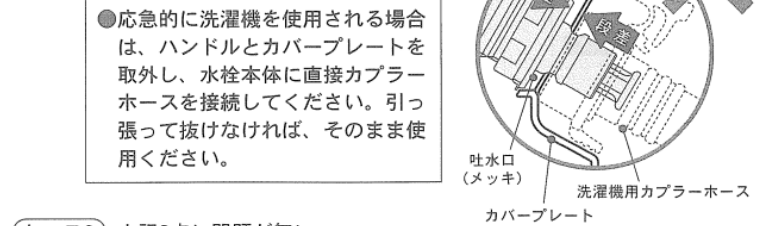


洗濯機用カプラーホース

## ■洗濯機用カプラーホースが接続できない場合

洗濯機用カプラーホースが奥まで挿入できない。また、洗濯機を作動させるとカプラーホースが抜ける等の不具合が起きる場合は、下記の手順に従って点検してください。

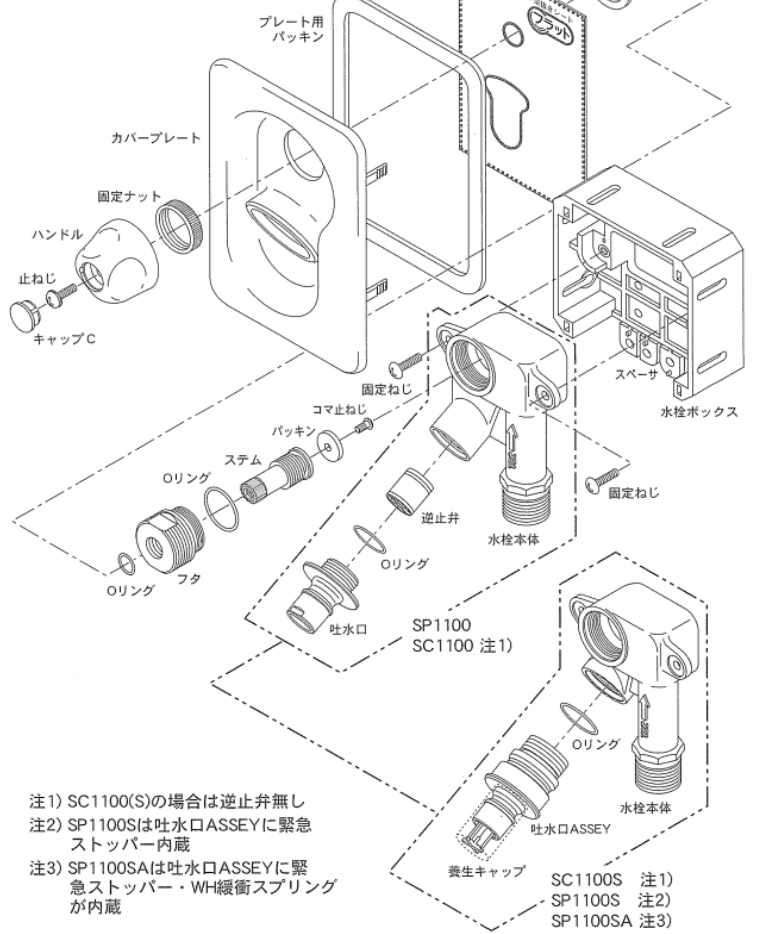
- 【ケース1】 緊急ストッパーのシャフトが固く動かない。  
【対策】 前ページの洗濯機用カプラーホースが外れた時の対処法に従って緊急ストッパーを解除し、カプラーホースを接続してください。
- 【ケース2】 カバープレートと吐水口に大きな段差がある。また、カプラーホースがカバープレートに接触し、奥まで挿入できない場合。  
【対策】 購入先の工事店が当社事業所に依頼し、水栓の取付調整を行ってください。
- 応急的に洗濯機を使用される場合は、ハンドルとカバープレートを取外し、水栓本体に直接カプラーホースを接続してください。引っ張って抜けなければ、そのまま使用ください。
- 【ケース3】 上記2点に問題が無い。  
【対策】 カプラーホースが規格に適合していない可能性があります。日本電気工業規格(JEM1206)に適合した洗濯機用カプラーホースをお買い求めください。



【適合品番/全自動洗濯機】	【適合品番/二層式洗濯機】
TBC T17-1X-1	TOTO TH277
SAN-EI PT17-1-□	SAN-EI T17-4F
カクダイ 4365-□	カクダイ 7726
ブリジストン BK-H-□	

※□はホース長さ

# 5 構成図



洗濯機用カプラーホース

## ■洗濯機用カプラーホース接続後に水がでない場合

- 【ケース1】 ハンドルが開いていない。▶ 【対策】 ハンドルを開けてください。
- 【ケース2】 カプラーホースが奥まで完全に装着できていない。  
【対策】 そのまま、完全な状態まで装着するか、前項の洗濯機用カプラーホースが接続できない場合に従って接続し直してください。
- 【ケース3】 その他の要因として吐水口内部の逆止弁にゴミかみ等が考えられます。  
【対策】 購入先の工事店が当社事業所に依頼し、水栓のメンテナンスを行ってください。

- お手入れについて  
水栓器具がいつまでも美しさを保つよう、次の要領でお手入れをしてください。  
●普段は柔らかい布に水またはぬるま湯を浸し、よく絞った後よごれを拭き取ってください。  
●よごれのひどい場合は中性洗剤をぬるま湯で薄め、浸した柔らかい布でよごれを拭き取ってください。その後、乾いた柔らかい布で磨いてください。

⚠ 注意	
!	酸性洗剤・塩素系洗剤・鉱物性潤滑油・シンナー・ベンジンなどは樹脂部品を傷めますので使用しないでください。本製品はカバープレート等に樹脂製品を使用しております。



# 6 使用上のご注意(お客様へ)

■洗濯機用カプラーホースの接続  
本製品は規格品の洗濯機用カプラーホースに対応しています。(日本電気工業規格JEM1206)カプラー部を図のように引きながら、水栓の吐水口に挿入してください。また、カプラーのつめはカバープレートのくぼみへ引っかけてください。接続後はホースを軽く引っ張りホースが簡単に抜けないこと確認してください。  
●カプラーが正しく接続できない場合はカプラーの形状が違うおそれがあります。規定のカプラーをお買い求めください。  
●カプラーを抜く時はつめを立て上記と同じ要領で抜いてください。

## 〈洗濯機用カプラーホース取扱上の注意事項1〉

⚠ 注意	
!	洗濯機用カプラーホースを接続する際は上記図のように正しく挿入してください。強引な挿入により部材の破損が生じ、漏水の原因となります。
!	洗濯機用カプラーホースは必ず日本電気工業(JEM1206)の規格製品をお使いください。シール不足やホース抜けによる漏水の原因となり、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## 〈緊急ストッパー取扱上の注意事項〉

⚠ 注意	
!	【緊急ストッパー付の場合】洗濯機用カプラーホースを接続する際は必ず水栓のハンドルを閉じ、吐水口内の水圧を抜いてから接続してください。水圧により接続ができない場合があります。(方法はP12を参照ください)
!	【緊急ストッパー付の場合】万が一、洗濯機用カプラーホースが外れても自動的に漏水を防止する機能を備えておりますが、器具を使用しない時は必ず水栓のハンドルは閉じてください。

洗濯機用カプラーホース



修理の際はお求めの工事店にご依頼ください。なおご不明な点は最寄りの当社事業所までご相談ください。

株式会社タブチ 本社:工場/〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号 TEL06-6708-0150 (代)			
仙台支店 TEL022-728-8081 (代)	広島支店 TEL082-248-8081 (代)	静岡営業所 TEL054-281-0275	
東京支店 TEL03-3458-2311 (代)	福岡支店 TEL092-441-8421 (代)	沖縄営業所 TEL098-867-9121	
横浜支店 TEL045-241-0550 (代)	南九州支店 TEL099-250-1090 (代)	住設事業部 TEL06-6225-3322	
高崎支店 TEL027-323-1124 (代)	札幌営業所 TEL011-780-6166 (代)	給水設備部 TEL06-6225-3323	
名古屋支店 TEL052-937-3481 (代)	土浦営業所 TEL0298-26-7220 (代)		
大阪支店 TEL06-6225-3321 (代)	さいたま営業所 TEL048-650-6721 (代)		